

自主デザイン研修プログラム内部コース

『地域医療強化コース』をご紹介します

コースの概要

研修1年目から地域医療を体系的に学べます

研修1年目から1か月の地域医療研修が可能です。『地域医療・総合診療医学講座』が2年間の初期研修に濃密に関わり、都農町国民健康保険病院にて3か月の地域医療研修を行います。その中で、様々な症候への**臨床推論能力**、Common diseaseを中心とした急性期疾患の**初期対応力**、**外来診療の基本**を身につけるチャンス豊富にご用意。海外では学問的にも確立されている家庭医療、日本で専門医制度が始まった総合診療をベースに学びを深めることで、**患者に寄り添い、家族やその地域をも支える医療**を体系的に、医師人生の初めから学ぶことができるコースとなっています。

指導医の桐ヶ谷先生に伺いました



桐ヶ谷 大淳 先生
都農町国民健康保険病院

Q コースのおすすめポイントは？

本研修では、地域医療ならではの学ぶべきことがあります。患者さんを治療することはもちろんですが、退院後の家庭環境を整えるために、多職種の方々と密接に連携して対応することが求められます。ここでは総合診療科の医師の指導の下で、地域で求められることをしっかりと身につけることができます。

メッセージ

総合診療医とは「地域を支える診療所や病院にて、他の領域別専門医、一般の医師、歯科医師、医療や健康に関わるその他の職種などと連携し、地域の医療・介護・保健など様々な分野でリーダーシップを発揮しつつ、多様な医療サービスを包括的かつ柔軟に提供する医師」です。

右の絵にある倍率の違うレンズを手に入れ、それを磨き、地域医療の現場で役立つ実践的な能力を身につけることを意識しながら研修指導にあたっています。Let's enjoy地域医療!!



都農町国民健康保険病院のご紹介♪

人口1万人(高齢化率約40%)の都農町において唯一入院設備のある医療機関(65床)。総合診療科、外科、整形外科、小児科、眼科の常勤医がおり、地域のかかりつけ病院として外来・入院・救急から在宅医療まで幅広く対応しています。最近新築したばかりの病院は快適で、地方の小病院で医師同士、多職種間の連携や相談もしやすい環境です。



2018年4月にリニューアルオープン!



コース選択研修医の診療風景

日本内科学会ことはじめ2020



2020年8月8日(土)に『医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ2020東京』が開催され、『内科合同コース』の榎間 菜津美先生(指導医:鈴木先生)、大楠 桃子先生(指導医:松浦先生)、内田 暁子先生(指導医:小田先生)、内田 圭祐先生(指導医:宮内先生)が参加・発表を行いました。

新型コロナウイルス感染症の影響で、Zoomを使用したWeb会議形式の発表という、新しい発表形式で開催されました。内科合同コースの4名の研修医は、これまでに準備を重ねてきた演題をそれぞれに頑張り立派に発表しました。会期が延期になったため、準備の時間には恵まれ、院内にいるときには直接、院外のローテートの時にはメールのやり取りや、google meetなどのアプリも使用しながら、パワーポイントスライド作成やミニ予行などを繰り返し行ってきました。新しいWeb開催でのメリット・デメリットも様々な感じることができ、非常に有意義な経験ができたのではないのでしょうか。発表者の先生方、指導医の先生方お疲れさまでした。

『内科合同コース』では、毎月第4週目曜日に「内科学ははじめの一步」として内科系診療科医師による1時間程度のショートレクチャーを開催しております。腹部エコーハンズオンや心エコーのハンズオン、神経診察レクチャー等々開催しており、内科合同コースでなくても研修医の先生方は時間が合えばぜひご参加ください。

第2回

研修医川柳コンクール

総評

令和から始めました研修医川柳の企画は、今年、第2回目となりました。今年も存続してよかった。。

今年はコロナ禍の中、これまでとは異なる状況に置かれています。研修医の先生たちはどんなことを日々感じ、考えているのでしょうか。生活や気持ちの一部をユーモアを交えて詠んでいただいています。

自分が研修医の頃に感じていたことを思い出したり、今で

も感じることに納得したり。

今年の作品も、研修医ならではの視点から上手に詠まれているのではないかと思います。うんうん。

今の頑張りがきっと将来の糧になるはず!がんばれ!研修医!!という気持ちで、今年の作品もぜひお楽しみください。

卒後臨床研修センター 研修医川柳コンクール委員長 鈴木 翔

最優秀賞

ピッチ 名乗らずに PHSに出たい トイレ中

詠み人 下河 祐太

選評 選考委員 卒後臨床研修センター 小田 康晴

いつ何時でもPHSが鳴る仕事ならではの一句、非常に共感できました。

なんとなく、身バレされたくないですね。

ゆっくりしたい環境なのに、余計に時間がかかってしまいそうです(汗)

宮大公式 YouTube
キャラクター みゃおう君が
研修医となって再現!



2位

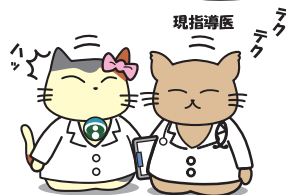
すれ違う 前の指導医の 元カレ感

詠み人 ペンネーム 頑張る研修医

選評 選考委員 卒後臨床研修センター 宮内 俊一

男性研修医が女性の視点で詠んでいます。この時点でキュンキュンしますね。

正直言って、逆の立場(指導医)からも同じような想い抱くことはありますよ。研修医と指導医、両者の心をくすぐってきます。



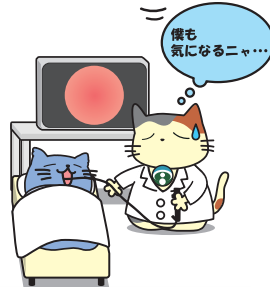
3位

胃の検査 して欲しいのは 僕の方

詠み人 川上 隆太郎

選評 選考委員 卒後臨床研修センター 越田 智広

臨床現場の最前線で働いている緊迫感が伝わって来る。胃薬を飲んでがんばろう!



4位

オーブンに 受けた愛情 倍返し

詠み人 河野 文耶

選評 選考委員 卒後臨床研修センター 木許 恭宏

半沢直樹の名セリフを取り入れたうまい句ですね。立派な医師に成長することが一番の恩返しです。そして次は自分が受けた愛情を次世代に還元してください。

5位

怒涛の日 同期カバーは 涙もの

詠み人 近藤 仁美

選評 選考委員 卒後臨床研修センター 山下 理絵

ん~この気持ち、素敵ですね!! とても共感できました。同期は一生の宝物、これからも大切にしてください。

研修医マッチング結果


2021年度研修開始予定の「臨床研修マッチング」が行われ、医師は10月22日(木)、歯科医師は10月20日(火)にマッチング結果が発表されました。

【医師】

| | |
|-------------------|-----|
| 自主デザイン研修プログラム | 34名 |
| 小児科研修重点プログラム | 0名 |
| 産婦人科/周産期研修重点プログラム | 0名 |
| 計 | 34名 |

【歯科医師】

| | |
|------------------|-----|
| 歯科臨床研修プログラム | 8名 |
| 歯科臨床研修協力型長期プログラム | 2名 |
| 計 | 10名 |

※フルマッチ 

専攻医の登録・応募開始 >>

本年度の専攻医募集のスケジュールが公表されました。詳細は日本専門医機構のホームページでご確認ください。

【1次登録期間】

11月4日～11月16日

【2次登録期間】

12月1日～12月24日

【最終調整期間】

令和3年1月6日～1月22日

本院の専門研修プログラムの詳細は本院ホームページでご確認いただけます。同ページ内でWeb版専門研修相談もスタートしましたので、ぜひ一度ご覧ください。



日本専門医機構HP



宮崎大学専門研修HP

歯科研修の魅力!お伝えします!

本院の歯科口腔外科は、歯学部のない国立大学病院では全国トップクラスの外来患者数を誇ります。そして腫瘍、炎症、外傷、顎変形症、先天疾患、有病者の治療などの多様な疾患が集まり、研修医が幅広く経験できる特徴を持っています。この本院の歯科研修の特徴をギュッと!と分かりやすくまとめて、実際の研修の様子も交えた紹介映像を制作しましたので、ぜひ一度ご視聴ください。

また「本院の特徴や雰囲気などを自分の目で見たい」、「指導医・研修医に疑問や質問を投げたい」、そんな方に向けて、どなたでもお気軽に参加できる「Web病院説明会」を随時開催しています。

参加者からは「大変分かりやすい」と好評ですので、ぜひお気軽にご応募ください。お待ちしております♪



WEB病院説明会の様子※随時開催中です♪



歯科研修紹介PV



WEB病院説明会



研修医への質問コーナー



歯科研修紹介PV

新制度に対応した教育カリキュラムがスタート

2020年度からの研修制度の見直しにより、社会的に要請の強い分野など新たに研修が必須化、推奨化された領域に関する教育カリキュラムを、宮崎県内の全研修医を対象にスタートしました。オンラインでも視聴できますので、皆さま奮ってご視聴をよろしくお願いいたします。



9月10日(木)

『児童・思春期精神科』

講師 宮崎大学医学部附属病院
精神科 大平 洋明 先生



10月29日(木)

『子ども虐待への対応』

講師 宮崎県立宮崎病院
小児科 日高 倫子 先生

今後の予定

『抗菌薬の上手な使い方と薬剤耐性菌への対応』

日時 令和2年12月10日(木) 18時～18時40分

講師 宮崎大学 膠原病・感染症内科 松田 基弘 先生

『がんゲノム医療の現状とトピックス』

日時 令和3年2月4日(木) 18時～18時40分

講師 宮崎大学 消化管・内分泌・小児外科 西田 卓弘 先生

二次研修医 内田 圭祐 先生

こんにちは。二次研修医の内田圭祐と申します。私は7、8月に都城医師会病院の救急科で研修させていただきました。

研修2年目になり、自分もDr carに乗せていただけるようになりました。現場へはDr carで向かい、帰りは救急車内で診療を行いつつ病院へ戻る、というのがDr car要請があった際の流れになります。ですが、経験のある方にはわかっていると思いますが、救急車はもうめっちゃ酔うのです。世間ではCOVID-19が流行しており、PPE、フェイスシールド、N95マスクのフル装備が基本なのですが、息苦しかったり、暑かったりで酔いに拍車をかけます。某ハリポッターのアトラクションで酔いまくる自分には効果抜群なのです。プリンペランを自分に筋注しつつ、アドレナリンを患者さんに筋注している日々です。

自分も先日、「日本内科学会ことはじめ」に参加させていただきました。市中で臨床を学びつつ、大学で専門領域に取り組む、まさにいいとこ取りの研修プログラムを満喫しています。自分是指導医の宮内先生、上級医の力武先生の多大なるご尽力の元、なんとか無事に発表を終えることが出来ました。リハーサル、そして本番で、同期である内田暁子さん、大楠さん、櫛間さんが専門領域の症例をわかりやすく伝え、考察に落としているのを見て、自分もいつか3人のような立派な学会発表をしたい、と思うばかりでした。発表者として、そして視聴者として貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。

残りの研修医生活、満喫しようと思います。



宮崎大学医学部FD研修会
医学部生の交流に関する国際学会-VISLO in Peru参加ご報告
—初めての南米訪問で考えたこと—

卒後臨床研修センター/外科 助教 市原 明子 先生

7月22日(水)に医学部の教職員・学生向けに開催されたFD研修会にて、医学教育の国際化へ資するため、当センターの市原先生が「医学部生の交流に関する国際学会」の報告を行いました。

Global Network Meeting にて南米初訪問!

昨年の2019年の10月に、宮崎大学本学の協定校であるペルーのカジェタノエレディア大学が共催となったAssociation of American Medical College(AAMC)の第2回Visiting Student Learning Opportunities(VSLO)会議に出席させて頂く機会がありました。卒後臨床研修センターの職員を兼任していること以外、全くもって門外漢でしたが、初訪問となった南米の地で医学教育の国際化についての活動に触れる貴重な体験ができました。

会議はペルーの首都リマで3日間開催され、参加者はアメリカ人、中東のメンバー数人を除いて、30数名全てスペイン語圏の医学部教員でした。小松先生が留学生のために作成された当院研修医カリキュラムのスライド等を持参しショートプレゼンする機会がありましたが、シミュレーターを使った教育プログラムに質問が飛び、日本との交流についても関心を持って頂いた様でした。現地の日系人ご家族との温かい交流の機を得ることができたことや、念願のマチュピチュを訪れる夢が実現し、往復の移動時間を忘れてしまう程親近感を抱く国になりました。コロナ禍の中ではありますが、皆さんにとっての交流の機会が早く訪れますことを願っています。



行事案内 (1月～4月)

| | | |
|----|----------------|---------------------------------------|
| 1月 | 22日(金) 15時～17時 | 基本的臨床能力評価試験 |
| | 30日(土)・31日(日) | 第114回歯科医師国家試験 |
| 2月 | 6日(土)・7日(日) | 第115回医師国家試験 |
| 3月 | 9日(火) | 医師研修管理委員会(修了判定) |
| | 15日(月) | 歯科医師研修管理委員会(修了判定) |
| | 16日(火) | 医師・歯科医師国家試験合格発表 |
| | 下旬 | 研修医 修了式 |
| 4月 | 1日(木)～ | 令和3年度 新研修医オリエンテーション |
| | | All Miyazaki研修医スタートアップセミナー&ウェルカムパーティー |

「なんでも掲示板」
原稿募集!

宮崎都市伝説、失敗リカバリー談、研修あるある話など、研修に係わる話ならなんでも原稿募集中です!

連絡先 宮崎大学医学部 学生支援課 卒後臨床研修係
内線2385/2386

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原5200
TEL0985-85-1864 FAX0985-85-0693
E-mail:sotugo@med.miyazaki-u.ac.jp

